宮城大学事業構想学部履修規程

平成21年4月1日 規程第32号

(趣旨)

- 第1条 この規程は、宮城大学学則(以下「学則」という。)第22条第2項の規定により、 事業構想学部における授業科目の履修の方法等に関し必要な事項を定める。
- 2 この規程に定めるもののほか、共通教育科目の履修方法等について他に特別の定めがある場合は、その定めるところによる。

(授業科目等)

第2条 授業科目の開講年次及び単位数並びに必修・選択の別等は、事業計画学科について は別表1、デザイン情報学科については別表2のとおりとする。

(履修の登録)

第3条 事業構想学部の学生(以下「学生」という。)は、履修しようとする授業科目について、前期及び後期の所定の期日までに、別に定める「履修登録の手引き」に基づき履修登録を行わなければならない。

(履修登録の制限)

- 第4条 次に掲げる授業科目は、履修登録をすることができない。
 - (1) 在学年次より上級年次に配当されている授業科目
 - (2) 既に単位を修得した授業科目
- 2 授業時間が重複する授業科目は、原則として履修登録できない。
- 3 教育環境等により、履修登録の人員を制限することがある。

(履修登録単位数の上限)

- 第5条 各学年における履修登録単位数の上限は、49単位とする。
- 2 前項の規定にかかわらず、次の各号に掲げる科目の単位数は、履修登録単位数の上限に は含まない。
 - 一 履修登録をして単位認定されなかった科目がある場合に、再履修した当該科目
 - 二 別表1および別表2の科目のうち、卒業要件に含まない科目
 - 三 学則第 16 条の規定に定める春季休業日,夏季休業日及び冬季休業日に開講される集中講義等の科目
- 3 学則第52条の規定に基づき、本学の他の学部又は学科の授業科目を履修する場合については、履修を許可された科目の単位数を履修登録した単位数とみなして、第1項の規定を適用する。
- 4 学則第53条第1項の規定に基づき、他大学又は短期大学から履修を許可された科目については、履修を許可された科目の単位数を履修登録した単位数とみなして、第1項の規定を適用する。ただし、教授会が特に必要と認めた場合は、この限りではない。

(授業科目の開講取消)

第6条 履修登録者数が5人以下の場合は、当該授業科目の開講について検討することができる。

(試験)

第7条 定期試験は、その授業の開講時期の末に期間を定めて行う。

- 2 前項の規定にかかわらず、授業科目によっては随時試験を行うことができる。
- 3 前2項の試験は、筆記試験、口述試験、実技試験、又は実験、実習、課題レポートにより行う。
- 4 履修登録をしていない学生は、試験を受験することができない。
- 5 筆記試験において,試験開始時刻に20分を超えて遅刻した学生は,当該試験を受験することができない。
- 6 受験の際は、学生証を机上に提示しなければならない。

(成績評価等)

- 第8条 学生の成績は、シラバスで示された授業の到達目標に対する学生の学習到達度によって評価されるものとする。
- 2 成績の表示は次のとおりとし、秀、優、良及び可を合格とし、所定の単位を与える。

評 価	評 点	学習到達度との関係
秀	90点以上	学習到達度が特に優秀な水準で到達目標に達している
優	8 0 点以上	学習到達度が優秀な水準で到達目標に達している
	90点未満	
良	70点以上	学習到達度が良好な水準で到達目標に達している
	80点未満	
可	60点以上	学習到達度が到達目標に達している
	70点未満	
不可	60点未満	学習到達度が到達目標に達していない

- 3 前条第5項の規定に該当し試験を受験できなかった授業科目及び正当な理由なく試験 を受験しなかった授業科目については、原則として不合格とする。
- 4 前2項の規定により不合格となった授業科目については、次年度以降に再履修することができる。この場合、当該授業科目については、第3条の規定に基づく履修登録を行わなければならない。
- 5 第2項及び第3項の規定により不合格となった必修科目及び選択必修科目を再履修する場合であって、当該再履修科目の担当教員が、当該再履修科目については該当学生の自己学習によって合格基準に達することが可能であると認めた場合に限り、当該再履修科目に係る授業への出席を免除することがある。
- 6 前項の規定により出席が免除された再履修に係る授業科目を次年度以降に履修登録する際,当該再履修登録科目の授業時間が次年度以降に配当されている他の必修科目又は選択必修科目の授業時間と重複する場合は,第4条第2項の規定にかかわらず,所定の手続きを経てその両方の授業科目を履修登録することができる。

(追試験)

- 第9条 所定の試験に欠席した学生に対する試験(以下「追試験」という。)は、原則として行わない。ただし、病気その他特別の理由により、やむを得ず試験を受験できなかった学生に対しては、その願い出により追試験を行うことがある。
- 2 前項の規定により追試験の受験を希望する学生は、原則として該当科目の試験終了後1 週間以内に、様式第1号による追試験願を提出し、学長及び担当教員の承認を得なければ ならない。この場合、病気により試験を受験できなかった学生には医師の診断書を、事故 等により試験を受験できなかった学生には当該理由を証明する書類の提出を求めること がある。
- 3 追試験の実施日時等は、該当授業科目の担当教員がその都度別に定める。
- 4 追試験における点数は、取得した点数の8割を上限として計算する。

(再試験)

- 第10条 試験(前条に規定する追試験を含む。)を受験して不合格となった学生及び第7条第3項の規定により不合格となった学生に対する試験(以下「再試験」という。)は、原則として行わない。ただし、教授会が必要と認めた場合は、再試験を行うことがある。
- 2 再試験の実施日時等は、該当授業科目の担当教員がその都度別に定める。
- 3 再試験における成績の評価は、原則として可を上限とする。

(不正行為)

- 第11条 第7条第1項に定める試験において不正行為をした学生に対しては、学則第36条の規定による懲戒処分を行うほか、当該学生がその期に登録しているすべての履修科目の成績評価を不可とする。
- 2 前項の試験以外の小テストやレポート等における不正行為又は授業の出席に関し虚偽申告を行った学生に対しては、その不正行為の状況により、小テスト等の得点を無得点又は当該科目の成績評価を不可とし、かつ、学則第36条の規定による懲戒処分を行うことができる。

(コースの設定)

第12条 デザイン情報学科に、履修コースとして「メディアデザインコース」及び「空間 デザインコース」を設ける。

(コースの選択及び変更)

- 第13条 デザイン情報学科の学生は、前条に規定する履修コースのいずれかを選択し、入 学した年度の1月末日までに様式第2号により、その選択した履修コースを学部長に届け 出なければならない。
- 2 前項の規定により選択した履修コースの変更を希望する学生は、別に定める日までに様式第3号により学部長に履修コースの変更許可申請を行い、その許可を得なければならない。
- 3 前項の規定にかかわらず、編入学生及び転入学生は、履修コースを変更できない。

(准級)

- 第14条 2年次及び3年次の学生は、その学年末において、所定の在学期間を満たし、かつ、別表3に掲げる進級要件をすべて満たしたときは、当該年次の1学年上の学年に進級することができる。
- 2 前項の規定にかかわらず、2年次又は3年次の学年末において、所定の在学期間は満たしているものの、留学等単位の修得に関する特別な事情により進級要件を満たすことができなかった学生については、それまでの単位の修得状況から上級年次の履修に支障がないと認められる場合に限り、その進級を認めることがある。

(卒業要件)

- 第15条 卒業するためには、4年以上在学し、事業計画学科については別表1、デザイン情報学科については別表2の「卒業要件の欄」に掲げる所定単位数をそれぞれ修得しなければならない。
- 2 前項の規定にかかわらず、学則第52条の規定により本学の他学部・他学科の授業科目 を履修して修得した単位及び学則第53条から第55条までの規定に基づき認定された 単位については、別に定めるところにより、卒業要件単位数への算入を認めることがある。

(クラス指定された授業科目の履修)

第16条 クラス指定された授業科目は、時間割で指定されたクラスで履修しなければならない。

(復興人材養成プログラム及びコミュニティ・プランナープログラム)

- 第17条 別表1及び別表2により「復興人材養成プログラム」関連科目として指定された 科目を履修し、かつ、所定の単位を修得した者については、「復興人材養成プログラム」を 修了したものとし、同プログラムの修了証を授与する。
- 2 別表1及び別表2により「コミュニティ・プランナープログラム」科目として指定された科目を履修し、かつ、所定の単位を修得した者については、「コミュニティ・プランナープログラム」を修了したものとし、「コミュニティ・プランナーアソシエイト」の称号を授与する。

(委任)

第18条 この規程に定めるもののほか、授業科目の履修方法等に関し必要な事項は、教授会の議を経て事業構想学部長が別に定める。

附則

この規程は、平成9年4月1日から施行する。

附則

(施行日)

1 この規程は、平成11年4月1日から施行する。

(経過措置

2 この規程の施行の際現にこの規程による改正前の別表 1 及び別表 2 の英語 I 及び英語 I の科目に関して単位を修得していない者については、当該科目によるものに限り第 1 1 条の規定は適用しない。

附則

- 1 この規程は、平成12年4月1日から施行する。
- 2 改正後の宮城大学事業構想学部履修規程については,第7条,第11条,第13条及び 別表を除き,施行日以降に在籍する学生に適用する。
- 3 改正後の宮城大学事業構想学部履修規程第7条及び第11条については、平成12年度 入学生から適用し、平成11年度までに入学した者については、なお従前の例による。
- 4 改正後の宮城大学事業構想学部履修規程第13条については、施行日以降に取得した資格等に適用する。
- 5 改正後の宮城大学事業構想学部履修規程別表については、施行日以降に在籍する学生に 適用する。ただし、別表中平成11年4月1日改正前に「英語I」の単位(6単位)を取 得済みの学生については、なお従前の例による。

附則

- 1 この規程は、平成13年4月1日から施行する。
- 2 改正後の宮城大学事業構想学部履修規程は、平成9年度入学生から適用する。
- 3 この規程の施行日前において、第11条第1項の規定に基づき進級できていない者については、改正規程の施行日において入学年次に相当する学年に進級するものとする。

4 改正後の別表3中,デザイン情報学科情報システムコースについては,平成11年度以降の入学生(編入生を含む。)から適用する。

附則

- 1 この規程は、平成14年4月1日から施行する。
- 2 この規程の施行目前において既に本学に在籍する学生については、なお従前の例による。

附則

- 1 この規程は、平成16年4月1日から施行する。
- 2 この規程の施行目前において既に本学に在籍する学生については、なお従前の例による。

附則

- 1 この規程は、平成17年4月1日から施行する。
- 2 この規程の施行日前において既に本学に在籍する学生については、なお従前の例による。

附則

- 1 この規程は、平成19年4月1日から施行する。
- 2 この規程の施行日前において既に本学に在籍する学生については、なお従前の例による。

附 則 (H21.4.1 第1回理事会)

- 1 この規程は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 この規程の施行日前において既に本学に在籍する学生については、なお従前の例による。

附 則 (H22.3.24 第19回理事会)

この規程は、平成22年4月1日から施行し、平成22年度入学生から適用する。

附 則 (H24.3.22 第52回理事会)

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

附 則 (H24.6.27 第56回理事会)

この規程は、平成24年6月27日から施行する。

附 則 (H25.2.27 第66回理事会)

- 1 この規程は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 この規程の施行日前において既に本学に在籍する学生については、なお従前の例による。 ただし、在学生は、改正後の宮城大学事業構想学部履修規程別表1及び2のうち、共通教 育科目及び専門教育科目のうち「学外研修」・「事業構想特別講義」・「インターンシップⅢ」・ 「グローバルインターンシップ」を履修することができる。

附 則 (H27.3.25 第94回理事会)

- 1 この規程は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 この規程の施行目前において既に本学に在籍する学生については、なお従前の例による。

附 則 (H28.3.23 第107 回理事会)

(施行日)

1 この規程は、平成28年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この規程の施行日前において既に本学に在籍する学生については、なお従前の例による。 ただし、改正後の規程第17条第2項、別表1及び別表2については、施行日以降に在籍 する学生に適用する。 様式第1号(第9条第2項関係)

追 試 験 願

平成 年 月 日

宮城大学長 殿

事業構想学部	学科	コース	学年
学籍番号			
氏 名			印
電話番号			
住所			

下記授業科目について, のため、宮城大学事業構想学部履修規程第6条に規定する所定の試験を受験できませんでしたので追試験を実施されるよう、同履修規程第9条第2項の規定により願い出ます。

記

授 業 科 目 名	所定試験実施	担当教員名	追試験実施予定	担当教員
	年月日・時限		年月日・時限	認印
	年 月 日		年 月 日	
	時限		時限	
	年 月 日		年 月 日	
	時限		時限	
	年 月 日		年 月 日	
	時限		時限	

- 注) 1 願出者は、「授業科目名」、「所定試験実施年月日・時限」及び「担当教員名」の欄にの みそれぞれ所要事項を記入するものとする。
 - 2 所定の試験を受験できなかった理由が傷病の場合にあっては医師の診断書を、それ以外の場合にあっては、当該理由を証明する書類の提出を求めることがある。

様式第2号(第13条第1項関係)

デザイン情報学科履修コース選択届出書

平成 年 月 日

事業構想学部長 殿

学籍番号	
氏 名	印
電話番号	

デザイン情報学科における履修コースを下記のとおり選択したので届け出ます。

記

選	択	し	た	履	修	コ	_	ス	名			
									— .	. –	•	
										ーフ	`	

様式第3号(第13条第2項関係)

デザイン情報学科履修コース変更許可申請書

平成 年 月 日

事業構想学部長 殿

(申 請 者)	
届出履修コース名	
学籍番号	
氏 名	印
電話番号	
住 所	
(保 証 人)	
氏 名	印
電話番号	
住 所	

デザイン情報学科における履修コースを下記のとおり変更したいので、許可されるよう申請します。

記

1 変更希望コース名

コース

2 コース変更理由

別表1 (事業計画学科)

	授業科目	開講	単	位数	授業	卒業要件
	坟 耒村日	年次	必修	選択	時間数	平来安什
	英語 I A	1	1		30	留学生は選択
	英語 I B	1	1		30	留学生は選択
	英語 II A	1	1		30	留学生は選択
	英語 Ⅱ B	1	1		30	留学生は選択
	英語ⅢA	2	1		30	留学生は選択
	英語ⅢB	2	1		30	留学生は選択
語	英語IVA (※看護系英語)	2		2	60	1
HI	英語IVB	2		1	30	必修を含めて8単位
	英語V	3 • 4		1	30	以上履修
学	英語VI	3 • 4		1	30	(留学生を除く)
	中国語 I	1 • 2		1	30	1
	中国語Ⅱ	1 • 2		1	30	1
	韓国語I	1 • 2		1	30	1
	韓国語Ⅱ	1 • 2		1	30	1
	語学講義 I	1 • 2		1	30	1
	語学講義Ⅱ	1 • 2		1	30]]
デ報シー	情報処理	1	2		30	
2 J	基礎統計学	1	2		30	1
	基礎ゼミ	1	1		30	
	宗教学	1 • 2		2	30	1
	日本の歴史・文化	1 • 2		2	30	1
	東南アジアの歴史・文化	1 • 2		2	30	1
人間	哲学	1 • 2		2	30	1
形	音楽	1 • 2		2	30	▼
成	美術	1 • 2		2	30	以上履修
科	健康科学	1 • 2		2	30	1
目	コミュニケーション	1 • 2		2	30	†
	Global Studies I	1 • 2		2	30	†
	Global Studies II	1 • 2		2	30	†
	スポーツ実技	1 • 2		2	60	†
人	心理学	1 • 2		2	30	ń
文	現代社会論	1 • 2		2	30	4単位以上履修
社会	憲法	1 • 2		2	30	
科学	経済学概論	1 • 2		2	30	1
	数学基礎	1		2	30	卒業要件単位に含まな
	物理基礎	1		2	30	卒業要件単位に含まな
基	化学基礎	1		2	30	卒業要件単位に含また
雄	生物基礎	1		2	30	卒業要件単位に含また
科	数学概論	1 • 2		2	30	1
学	物理概論	1 • 2		2	30	1
	化学概論	1 • 2		2	30	1
	生物概論	1 • 2		2	30	1]
講特	特別講義I	1 • 2		2	30	
義別	特別講義Ⅱ	1 • 2		1	15	†
	日本事情 I	1	2		30	ר
留	日本事情Ⅱ	1	2		30	1
学	日本語I	1	2		30	→ 留学生のみ履修可能
生	日本語Ⅱ	1	2		30	1
対象	日本語Ⅲ	2	2		30	1
895	日本語IV	2	2		30	1
	11 1 HH *1		<u> </u>			<u> </u>

(事業計画学科)

	-	授業科目(旧カリ名)	開講年次	単位	立 数	授業	卒業要件
,			州碑十八	必修	選択	時間数	平未安(十
事 基	基基	経営学概論	1前	2		30] \
月 本数 科			1前	2	************	30] \
			1前		2	30	
+		法学概論	1前		2	30	
		簿記原理	1前	2		30	
		会計学総論	1後	2		30	
		建築概論	1後		2	30	
		コンピュータ科学	1後		2	30	
		地域資源論	1後		2	30	
		地域政策論	1後		2	30	
		デザイン理論	1後		2	30	
		ビジネスプランニング	1後		2	30	
		ビジネスプレゼンテーション	1後		2	30	
		事業構想特別講義 **	1				
		事業構想の数理	2前		2	30	
		デザイン史	2前		2	30	
		民法	2前		2	30	
		事業計画特別講義 I	2前		2	30	
		デザイン情報特別講義 I	2前		2	30	
		感性情報処理	2後		2	30	
		商法·会社法	2後		2	30	
		マーケティングリサーチ	2後		2	30	
		マーケティング論	2後		2	30	
		ミクロ経済学	2後		2	30	
		事業計画特別講義Ⅱ	2後		2	30	必修科目を含めて
		デザイン情報特別講義Ⅱ	2後		2	30	32単位以上選択
		社会科学総論	3前		2	30	
		地域産業論	3前		2	30	
		知的財産権	3前		2	30	
		事業計画特別講義Ⅲ	3前		2	30	
		デザイン情報特別講Ⅲ	3前		2	30	
		チームプロジェクト研究	3後	2		30]
		復興の地域経営*	3後		2	30]
		事業構想総論	4後		2	30	
	キ	キャリア開発A	1後	1		15	
	ヤリ	キャリア開発B	2前	1		15	
	ア	キャリア開発C	2後	1		15	
	科		3前	1		15	
	目	インターンシップ I	2前		2	30	
		インターンシップ Ⅱ	3前		2	30]
		インターンシップⅢ **	2]]
		グローバルインターンシップ **	2]]
		学外研修 **	1				l <i>J</i>

=	#-	7.5	A MA Advanced A		1	_		I~.	
専門	基幹	ビジ	企業簿記論	1後		2	30	\	
教	科	ネ	金融論	2前		2	30	\ \	
育	目	ス	経営戦略	2前		2	30	, ,	
科			経営財務	2後		2	30	, ,	
目		ラン	人的資源管理	2後		2	30	, ,	
		-	税務会計	2後		2	30	, ,	
		ン	非営利事業会計	2後		2	30] }	
		グ	意思決定会計	3前		2	30] }	
		管	企業評価	3前		2	30	, ;	
		理	公法	3前		2	30	, ;	
		系	CSR·監査論	3後		2	30] [
			ベンチャー企業論	3後		2	30] }	
	基		ITソリューション	2前		2	30] ;	
	幹 科	ジネ	eビジネス	2前		2	30	,	
	目	ハス	観光学	2前		2	30		
	_	プ	メディアプランニング	2前		2	30		
		ラ	ホスピタリティビジネス	2後		2	30]	必修科目を含めて
		ンニ	流通システム	2後		2	30]	49単位以上選択
		ン	市場•社会調査事例	3前		2	30		
		グ	商業開発	3前		2	30	1	
			販売促進	3前		2	30	1	
		開発	ビジネスコントラクト	3後		2	30]	
			ビジネスプロセスマネジメント	3後		2	30]	
			ブランディング	3後		2	30	1	
		ソ	医療福祉政策論	2前		2	30	1	
		1	行政学総論	2前		2	30]	
		シャ	地域計画	2前		2	30		
		ルル	交通計画	2後		2	30		:
		プ	コミュニティビジネス	2後		2	30	1	
		ラ		2後		2	30]	
		=	地域交流事業	2後	**********	2	30	Ì	
		ン	社会起業論	3前		2	30		
		グ	非営利経営論	3前		2	30	1	
		系	環境政策論	3前		2	30	Ì	
			地域経済論	3後		2	30		
	淨		メデイアリテラシー	2前	1		30		!
	翟		フィールドワークリテラシー	2前	1		30	1)	必修科目を含めて
	科目		データマイニングリテラシー	3前		1	30	1	12単位以上選択
	_	•	事業演習 I (ビジネスプランニングー管理系)	3前	**********	2	60	171	
			事業演習 I (ビジネスプランニングー開発系)	3前		2	60	1 ;	
			事業演習 I (ソーシャルプランニング系)	3前		2	60		单位以上選択
			事業演習 I (複合系)	3前		2	60	1 [
			事業演習 I (実践系)	3前		2	60	1111	
			事業演習 II (ビジネスプランニングー管理系)	3後		2	60	151/	
			事業演習 II (ビジネスプランニング-開発系)	3後		2	60	1 /	
			事業演習Ⅱ(ソーシャルプランニング系)	3後		2	60		单位以上選択
			事業演習Ⅱ(複合系)	3後		2	60	1	
			事業演習Ⅱ(実践系)	3後		2	60	1 J/	
			事業計画研究	4前	3	-	90	17/1	
			卒業研究	4後	3		135	リク	
$\overline{}$			1.200.91.74	11/2		1	100		

日本学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学	-t-			Lu a.a.			1	T
数 青 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	専	関	メデ	造形デザイン	2前	2	30	
育 月 月 月 ア フェット管理 2回 2 30 オ ア イフ 大型 2回 2 30 イ ア ルコリス 基礎 2位 2 30 フ イフ 大型 インストで 2億 2 30 2 30 ウェブデザイン 2億 2 30 ウェブデザイン 2億 2 30 ウェブデザイン 2億 2 30 データン ステム設計 2億 2 30 データ・イニング 3前 2 30 データ・イニング 3前 2 30 データ・イニング 3前 2 30 データ・イニング 3前 2 30 2 30 ボーシーティングンズテム 3億 2 30 2 30 ボーシーディングスデザイン 3億 2 30 2 30 変成素現技術 2前 2 30 運搬を実施機管 2 前 2 30 30 運搬を乗機管 2 前 2 30 30 産業・規模管 2 前 2 30 30 産業企順 2 30 2 30 機能工学 3前 2 30 30 産業企順 2 30 30 中でステナイン・デザイン 2億 2 30 2 30 機能工学 3前 2 30 30 大大 2 2 30 30 大 2 2 30 30 大 2 2 30 30 大 2 30 3					2前	2	30	
日			1		2前	2	30	
マブデザイン 2億 2 30 アンステム設計 2億 2 30 アブインマネジルト 2億 2 30 アブインマネジルト 3前 2 30 情報ネットワーク 3前 2 30 データマイニング 3前 2 30 データマイニング 3前 2 30 ア・アクマイニング 3前 2 30 ボークマイニング 3前 2 30 ボークマイングンステム 3億 2 30 大・バー・アイングンステム 3億 2 30 大・アフィックステザイン 3億 2 30 大・アフィックステザイン 3億 2 30 大・ボーン・アイングンステム 3億 2 30 ボーングンアデザイン 3億 2 30 ボーングンアデザイン 2億 2 30 ・ボーン・アイングンステム 3億 2 30 ・ボーン・アイングンステム 3億 2 30 ・ボーン・アイングンファム 3億 2 30 ・ボーン・アイングンファム 3億 2 30 ・ボーン・アイングンファム 3億 2 30 ・ボーングンアデザイン 2億 2 30 ・ボーン・アイングンファム 3億 2 30 ・ボーン・アイングンファム 3億 2 30 ・ボーン・アイングンファム 3億 2 30 ・ボーン・アイングンファム 3億 2 30 ・ボーン・アイングンファム 36 ・ボーン・アイングンファム 36 ・ボーン・アイングンファム 36 ・ボーン・アイングンファム 36 ・ボーン・アイングンファイン 2億 2 30 ・ボーン・アイングンア・イン 2億 2 30 ・ボーン・アイングンア・イン 2億 2 30 ・ボーン・アインア・ディン 3前 2 30 ・ボート・アン・アインア・ディン 3前 2 30 ・ボート・アン・アインア・ディン 3前 2 30 ・ボート・アン・アインア・ディン 3前 2 30 ・ボート・アン・アン・アイン・ 3前 2 30 ・ボート・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・				メディアエレクトロニクス	2前	2	30	
→ パンカスム 施禮 2億 2 30 ラニブデザイン 2後 2 30 ケームデザイン 2後 2 30 デザインマネジルト 2後 2 30 インタラクションデザイン 3前 2 30 情報ネットワーク 3前 2 30 データマイニング 3前 2 30 データマイニング 3前 2 30 データマイニング 3前 2 30 ボージーティングンステム 3後 2 30 広告・グラフィックスデザイン 3後 2 30 広告・グラフィックスデザイン 3後 2 30 広告・グラフィックスデザイン 3後 2 30 広告・グラフィックスデザイン 3後 2 30 デザイン情報環境 3後 2 30 デザイン情報環境 2前 2 30 壁楽上般構造 2前 2 30 壁楽上般構造 2前 2 30 世華半計画 2前 2 30 世華紀史 2前 2 30 様本の情値 2前 2 30 様本の情値 2前 2 30 様本のデザイン 2後 2 30 様本の声がデザイン 2後 2 30 横立カ学 1 3前 2 30 初 2 30 横立カ学 1 3前 2 30 初 2 30 初 2 30 初 2 30 初 2 30 初 2 30 初 3 4 2 30 初 3 6 2 30 和 5 2 30 初 7	目			メディア表現	2前	2	30	
第 クェブザイン 2後 2 30 システム設計 2後 2 30 アザインマネジタント 2後 2 30 インタフケンコデザイン 3前 2 30 ボータース 3前 2 30 データマイニング 3前 2 30 エーザビリティ 3前 2 30 映像デザイン 3後 2 30 大ペレーティングンステム 3後 2 30 広告・グラフィックスデザイン 3後 2 30 広告・グラフィックスデザイン 3後 2 30 変域表現技術 2前 2 30 空域検査・現住機嫌 2前 2 30 空域を使機 2前 2 30 建築上側 2前 2 30 建築上 2前 2 30 建築生 2前 2 30 建築主 2 30 2 30 建築上 2 30 2 30 建築上 2 30 2 30 建築上 2 30 30				アルゴリズム基礎	2後	2	30	
システム設計 2後 2 30 デザインマネジメント 2後 2 30 インタラクションデザイン 3前 2 30 情報ネットワーク 3前 2 30 データベース 3前 2 30 エーザピリティ 3前 2 30 映像デザイン 3後 2 30 オーンレーティングンステム 3後 2 30 広告・グラフィックスデザイン 3後 2 30 変換・サイン・デザイン 3後 2 30 変換・契伸を受ける 2前 2 30 建築・契伸を 2前 2 30 建築・型 2前 2 30 建築・型 2前 2 30 建築・型・デザイン 2後 2 30 建築・デザイン 2後 2 30 建築・デザイン 3前 2 30 関連エデザイン 3前 2 30 財科学 3前 2				ウェブデザイン	2後	2	30	
デザインマネジルト 2後 2 30 インタラジンコンデザイン 3前 2 30 データマイニング 3前 2 30 データマイニング 3前 2 30 ユーザニリティ 3前 2 30 映像デザイン 3後 2 30 は告・グラフィックスデザイン 3後 2 30 デザイン情報環境 3後 2 30 要果・軽精造 2前 2 30 建築・軽機構造 2前 2 30 建築・軽機構造 2前 2 30 建築企画 2前 2 30 建築企画 2前 2 30 建築企画 2 30 30 建築企画 2 30 30 建築企業 2 30 30 建築企列 2 30 30 建築企業 2 30 30 建築企業 2 30 30 建築企列 2 30 30 建築企列 3 2 30 サンティナーアルディナーアルディナーアルディナーアルディナーアルディ				ゲームデザイン	2後	2	30	
インタラクションデザイン 3前 2 30 情報ネトワーク 3前 2 30 アークベース 3前 2 30 アーグイニング 3前 2 30 アーグイングンステム 3後 2 30 アーグイングンステム 3後 2 30 アーグイングンプーム 3後 2 30 アーグイングープーム 3後 2 30 アーグインデザイン 3後 2 30 アーグインデザイン 3後 2 30 アーグイングープーグーングーグーグーグーグーグーグーグーグーグーグーグーグーグーグーグー				システム設計	2後	2	30	
インタラクションデザイン 3前 2 30 情報ネットワーク 3前 2 30 データベース 3前 2 30 データベース 3前 2 30 ブータマイニング 3前 2 30 ブータマイニング 3前 2 30 ブータマイニング 3前 2 30 ブーダンイングステム 3後 2 30 ブーダントデザイン 36 2 30 ブーダントデザイン 36 2 30 ブーダントデザイン 2前 2 30 ブーダントデザイン 2前 2 30 ブーダントデザイン 2後 2 30 ブーダントプリンデザイン 2後 2 30 ブーダントプリンティイブルデザイン 26 2 30 ブーダントプリンティイブルデザイン 26 2 30 ブースティナブルデザイン 26 2 30 ブースティナブルデザイン 26 2 30 ブースティナブルデザイン 26 2 30 ブースティナブルデザイン 3前 2 30 ブースティナブルデザイン 3前 2 30 ブースティナブルデザイン 3前 2 30 ブースティナブルデザイン 3前 2 30 ブーストプレープデザイン 3前 2 30 ブーストプレーブデザイン 3前 2 30 ブーストプレーブデザイン 3前 2 30 ブーストプレーブデザイン 36 2 30 ブーストプレーブデザイン 37 ブーストプレーブデザイン 37 ブーストプレーブデザイン 37 ブーストプレーブデザイン 37 ブーストプレーブデザイン 30 ブーストプレーブデザイン 30 ブーストプレーブデザイン 30 ブーストプレーブデ				デザインマネジメント	2後	2	30	
データベース 3前 2 30 データマイニング 3前 2 30 ユーザビリティ 3前 2 30 水ベレーディングンステム 3後 2 30 広告・グラフィックスデザイン 3後 2 30 デザイと情報環境 3後 2 30 空 操塊表現技術 2前 2 30 世華・一般構造 2前 2 30 都市と文化 2前 2 30 本等主題 2 30 2 建築中 2前 2 30 建築市 2 30 2 環境工学・ディーンプリアデザイン 2後 2 30 環境工学・ディーン・ファンドストープデザイン 3前 2 30 機能学・ファンドストープデザイン 3前 2 30 連挙・ア・ファンドス				インタラクションデザイン	3前	2	30	
デークマイニング 3前 2 30 ユーザビリティ 3前 2 30 映像デザイン 3後 2 30 オペレーティングシステム 3後 2 30 広告・グラフィックスデザイン 3後 2 30 デザイン情報環境 3後 2 30 空環境表現技術 2前 2 30 建築中 般構造 2前 2 30 オ 建築史 2前 2 30 本 企業と 2前 2 30 建築上 2前 2 30 オ 空標 2 30 30 オ 会議会上 2 30 30 東京大イン・ファインアインアインアインアイン 3前 2 30 東京大イン・ファイントープライントープライントープライントープライントープライントープライントープライントープライントープライントープライントープライントープライントープライントープライントープライントープ				情報ネットワーク	3前	2	30	
デークマイニング 3前 2 30 ユーザビリティ 3前 2 30 映像デザイン 3後 2 30 オペレーティングシステム 3後 2 30 広告・グラフィックスデザイン 3後 2 30 デザイン情報環境 3後 2 30 空環境表現技術 2前 2 30 建築中 般構造 2前 2 30 オ 建築史 2前 2 30 本 企業と 2前 2 30 建築上 2前 2 30 オ 空標 2 30 30 オ 会議会上 2 30 30 東京大イン・ファインアインアインアインアイン 3前 2 30 東京大イン・ファイントープライントープライントープライントープライントープライントープライントープライントープライントープライントープライントープライントープライントープライントープライントープライントープ				データベース	3前	2	30	
ユーザビリティ 3前 2 30 映像デザイン 3後 2 30 広告・グラフィックスデザイン 3後 2 30 広告・グラフィックスデザイン 3後 2 30 デザイン情報環境 3後 2 30 空 環境表現技術 2前 2 30 第 建築・配構造 2前 2 30 イ建築史 2前 2 30 都市と文化 2前 2 30 インテリアデザイン 2後 2 30 建築企画 2後 2 30 建築法規 2後 2 30 横流デザイン 2後 2 30 横流方学I 2後 2 30 サスティナブルデザイン 2後 2 30 建築デザイン 3前 2 30 藤蛮ア・ディントーブデザイン 3前 2 30 アンドスケーブデザイン 3前 2 30 建築コスト 3後 2 30 空間と事業 3後 2 30 空間と事業 3後 2 30 政権等計画 3後 2 30 政権等計画 36 2 30 政権等計画 36 2 30 東京 </td <th></th> <th></th> <td></td> <td>·····</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>				·····				
映像デザイン 3後 2 30 オペレーティングシステム 3後 2 30 広告・グラフィックスデザイン 3後 2 30 デザイン情報環境 3後 2 30 空環境表現技術 2前 2 30 建築一般構造 2前 2 30 推築主動画 2前 2 30 系 都市上文化 2前 2 30 インテリアデザイン 2後 2 30 建築企画 2後 2 30 建築企画 2後 2 30 構造プデイン 2後 2 30 環境工学 3前 2 30 環境工学 3前 2 30 建築デザイン 3前 2 30 横立力学目 3前 2 30 村村学 3前 2 30 村村学 3前 2 30 アンドスケーブデザイン 36 2 30 建築コスト 3後 2 30 空間・デザイン 3後 2 30 空間							·	
オペレーティングンステム 3後 2 30 広告・グラフィックスデザイン 3後 2 30 ブザイン情報環境 3後 2 30 ブザグトデザイン 3後 2 30 ブザグトデザイン 3後 2 30 ブザグトデザイン 3後 2 30 世継条刊画 2前 2 30 世継条刊画 2前 2 30 世継条刊画 2前 2 30 世継条刊画 2後 2 30 世経金価 2後 2 30 世経五十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二							·	
広告・グラフィックスデザイン 3後 2 30 デザイン信報環境 3後 2 30 プロダクトデザイン 3後 2 30 建築・段構造 2前 2 30 建築・開構造 2前 2 30 建築・計画 2前 2 30 インデリアデザイン 2後 2 30 建築・法規 2後 2 30 構造デザイン 2後 2 30 横造力学 I 2後 2 30 機工学 3前 2 30 横造力学 II 3前 2 30 横造力学 II 3前 2 30 村科学 3前 2 30 都市計画 3前 2 30 アンリティマネジメント 3前 2 30 空間・ボイン 3後 2 30 空間・ボイン 3後 2 30 連築デザイン 3前 2 30 ファンリティマネジメント 3前 2 30 空間・ボイン 3後 2 30 空間・ボイン 3後 2 30 連築に対し 2 30 30 東京 36 2 30 東北 2 30 <t< td=""><th></th><th></th><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></t<>								
デザイン情報環境 3後 2 30 空環境表現技術 2前 2 30 建築一般構造 2前 2 30 建築計画 2前 2 30 建築中 2前 2 30 水市と文化 2前 2 30 建築企画 2後 2 30 建築法規 2後 2 30 構造デザイン 2後 2 30 環境工学 3前 2 30 機業デザイン 3前 2 30 横造力学II 3前 2 30 材料学 3前 2 30 都市計画 3前 2 30 アンソティマネジメント 3前 2 30 東端コト 3後 2 30 空間デザイン 3後 2 30 空間デザイン 3後 2 30 空間と事業 3後 2 30 施工技術 3後 2 30 地区計画 3後 2 30							}	
プロダクトデザイン 3後 2 30 環境表現技術 2前 2 30 建築一般構造 2前 2 30 建築中 2前 2 30 都市と文化 2前 2 30 水デリアデザイン 2後 2 30 建築企画 2後 2 30 建築注規 2後 2 30 構造デザイン 2後 2 30 環境工学 3前 2 30 建築デザイン 3前 2 30 株造力学I 3前 2 30 株造力学I 3前 2 30 株造力学I 3前 2 30 株造力学I 3前 2 30 水料学 3前 2 30 水井学バスケーブデザイン 3前 2 30 連集コスト 3後 2 30 空間と事業 3後 2 30 施工技術 3後 2 30 設備設計 3後 2 30				***************************************				
□ で で で で で で で で で で で で で で で で で で で								,
建築一般構造 2前 2 30 建築中 2前 2 30 建築史 2前 2 30 建築史 2前 2 30 都市と文化 2前 2 30 都市と文化 2前 2 30 建築企画 2後 2 30 建築法規 2後 2 30			亇		1			
世樂計画 2前 2 30 建築史 2前 2 30 都市と文化 2前 2 30 才・デリアデザイン 2後 2 30 建築法規 2後 2 30 構造デザイン 2後 2 30 環境工学 3前 2 30 建築デザイン 3前 2 30 構造力学II 3前 2 30 材料学 3前 2 30 打ジリティマネジメント 3前 2 30 ブナシリティマネジメント 3前 2 30 空間デザイン 3後 2 30 空間デザイン 3後 2 30 空間と事業 3後 2 30 施工技術 3後 2 30 機能の計 3後 2 30 地区計画 3後 2 30				***************************************				
本部と文化								
#市と文化 2前 2 30 (インテリアデザイン 2後 2 30) 建築企画 2後 2 30) 建築法規 2後 2 30) 建築法規 2後 2 30 構造デザイン 2後 2 30 横造デザイン 2後 2 30 横造デザイン 2後 2 30 操造力学 I 2後 2 30 操造力学 I 3前 2 30 操造力学 I 3前 2 30 検渉デザイン 3前 2 30 検渉デザイン 3前 2 30 校科学 3 前 2 30 校子 一プデザイン 3 前 2 30 校子 一プデザイン 3 後 2 30 校子 一プデザイン 3 後 2 30 校子 一プデザイン 3 後 2 30 校子 「大女術 3 後 2 30 校子 「大女術 3 後 2 30			· .				ł	
新市と文化							ł	
建築企画 2後 2 30 建築法規 2後 2 30 構造力学 I 2後 2 30 サスティナブルデザイン 2後 2 30 環境工学 3前 2 30 建築デザイン 3前 2 30 構造力学 II 3前 2 30 材料学 3前 2 30 都市計画 3前 2 30 ファシリティマネジメント 3前 2 30 夏ドスケーブデザイン 3前 2 30 空間デザイン 3後 2 30 空間デザイン 3後 2 30 空間と事業 3後 2 30 設備設計 3後 2 30 地区計画 3後 2 30			1	都市と文化		2	30	
建築法規 2後 2 30 構造力学 I 2後 2 30 サスティナブルデザイン 2後 2 30 環境工学 3前 2 30 建築デザイン 3前 2 30 材料学 3前 2 30 都市計画 3前 2 30 ファシリティマネジメント 3前 2 30 ランドスケープデザイン 3前 2 30 建築コスト 3後 2 30 空間デザイン 3後 2 30 空間と事業 3後 2 30 設備設計 3後 2 30 地区計画 3後 2 30				インテリアデザイン	2後	2	30	
構造デザイン 2後 2 30 構造力学 I 2後 2 30 サスティナブルデザイン 2後 2 30 環境工学 3前 2 30 建築デザイン 3前 2 30 材料学 3前 2 30 材料学 3前 2 30 初市計画 3前 2 30 ファシリティマネジメント 3前 2 30 ランドスケープデザイン 3前 2 30 空間デザイン 3後 2 30 空間デザイン 3後 2 30 空間と事業 3後 2 30 施工技術 3後 2 30 砂面主技術 3後 2 30 地区計画 3後 2 30 地区計画 3後 2 30				建築企画	2後	2	30	
構造力学 I 2後 2 30 サスティナブルデザイン 3前 2 30 環境工学 3前 2 30 構造力学 II 3前 2 30 材料学 3前 2 30 都市計画 3前 2 30 ファシリティマネジメント 3前 2 30 ランドスケープデザイン 3前 2 30 建築コスト 3後 2 30 空間と事業 3後 2 30 空間と事業 3後 2 30 設備設計 3後 2 30 地区計画 3後 2 30				建築法規	2後	2	30	
サスティナブルデザイン 2後 2 30 環境工学 3前 2 30 建築デザイン 3前 2 30 材料学 3前 2 30 都市計画 3前 2 30 ファシリティマネジメント 3前 2 30 ランドスケープデザイン 3前 2 30 建築コスト 3後 2 30 空間デザイン 3後 2 30 空間と事業 3後 2 30 施工技術 3後 2 30 地区計画 3後 2 30				構造デザイン	2後	2	30	
環境工学 3前 2 30 建築デザイン 3前 2 30 構造力学II 3前 2 30 材料学 3前 2 30 都市計画 3前 2 30 ファシリティマネジメント 3前 2 30 ランドスケープデザイン 3前 2 30 建築コスト 3後 2 30 空間デザイン 3後 2 30 空間と事業 3後 2 30 施工技術 3後 2 30 地区計画 3後 2 30 地区計画 3後 2 30				構造力学 I	2後	2	30	
建築デザイン 3前 2 30 構造力学Ⅱ 3前 2 30 材料学 3前 2 30 都市計画 3前 2 30 ファシリティマネジメント 3前 2 30 ランドスケープデザイン 3前 2 30 建築コスト 3後 2 30 空間デザイン 3後 2 30 空間と事業 3後 2 30 設備設計 3後 2 30 地区計画 3後 2 30				サスティナブルデザイン	2後	2	30	
構造力学Ⅱ 3前 2 30 材料学 3前 2 30 都市計画 3前 2 30 ファシリティマネジメント 3前 2 30 ランドスケープデザイン 3前 2 30 建築コスト 3後 2 30 空間デザイン 3後 2 30 空間と事業 3後 2 30 設備設計 3後 2 30 地区計画 3後 2 30				環境工学	3前	2	30	
材料学 3前 2 30 都市計画 3前 2 30 ファシリティマネジメント 3前 2 30 ランドスケープデザイン 3前 2 30 建築コスト 3後 2 30 空間デザイン 3後 2 30 空間と事業 3後 2 30 施工技術 3後 2 30 設備設計 3後 2 30 地区計画 3後 2 30				建築デザイン	3前	2	30	
都市計画 3前 2 30 ファシリティマネジメント 3前 2 30 ランドスケープデザイン 3前 2 30 建築コスト 3後 2 30 空間デザイン 3後 2 30 空間と事業 3後 2 30 施工技術 3後 2 30 設備設計 3後 2 30 地区計画 3後 2 30				構造力学 I	3前	2	30	
都市計画 3前 2 30 ファシリティマネジメント 3前 2 30 ランドスケープデザイン 3前 2 30 建築コスト 3後 2 30 空間デザイン 3後 2 30 空間と事業 3後 2 30 施工技術 3後 2 30 設備設計 3後 2 30 地区計画 3後 2 30						2	30	
ファシリティマネジメント 3前 2 30 ランドスケープデザイン 3前 2 30 建築コスト 3後 2 30 空間デザイン 3後 2 30 空間と事業 3後 2 30 施工技術 3後 2 30 設備設計 3後 2 30 地区計画 3後 2 30				都市計画		2	30	
ランドスケープデザイン 3前 2 30 建築コスト 3後 2 30 空間デザイン 3後 2 30 空間と事業 3後 2 30 施工技術 3後 2 30 設備設計 3後 2 30 地区計画 3後 2 30							ł	
建築コスト 3後 2 30 空間デザイン 3後 2 30 空間と事業 3後 2 30 施工技術 3後 2 30 設備設計 3後 2 30 地区計画 3後 2 30							ł	
空間デザイン 3後 2 30 空間と事業 3後 2 30 施工技術 3後 2 30 設備設計 3後 2 30 地区計画 3後 2 30							ł	
空間と事業 3後 2 30 施工技術 3後 2 30 設備設計 3後 2 30 地区計画 3後 2 30							ł	
施工技術 3後 2 30 設備設計 3後 2 30 地区計画 3後 2 30								
設備設計 3後 2 30 地区計画 3後 2 30								
地区計画 3後 2 30							·	
							·	
専門教育科目の合計 91単位以上	<u> </u>		<u> </u>	ļ	3後	2	30	
	専門教	教育科	目の)合計				91単位以上

※1 基本科目, 基幹科目, 演習科目単位でそれぞれ定める卒業要件単位の合計は81単位 (必修を含む)。

※2 ※1のほか、関連科目を含め専門教育科目から履修が必要な単位数は10単位以上。た

共通教育科目と専門教育科目の合計

卒業要件単位数124単位以上

だし、関連科目から卒業要件単位に算入できる単位数は、10単位までとする。

^{*}表示のある科目は「復興人材養成プログラム」に関連する科目である。

^{**}表示のある科目の開講期及び単位数は、授業の内容に応じ、その都度定める。

〇「学都仙台コンソーシアム復興人材育成教育コース科目」(東北大学単位互換提供科目「カレントトピック科目」) 以下の科目は「宮城大学の学生による他学部・他学科等授業科目の履修等実施要綱」第6条第1条に基づき、卒業要件単位に算入できる。

4	受業科目	推奨受講年次	単位	拉数
1	文 耒 村 日	推吳文碑平仏	必修	選択
連 携	復興の思想 *	2•3年		2
科 目	復興のための生活構築術*	2•3年		2
	復興の科学技術 *	2•3年		2
	復興の政治学*	2•3年		2
	復興の経済学 *	2•3年		2
	復興の社会学 *	2•3年		2

[※] これらの復興科目から6単位を修得し、かつ専門基本科目「復興の地域経営」2単位を修得した者に、「復興人材養成プログラム」修了証を授与する。

Oコミュニティ・プランナープログラム 科目表

領域	授業科目名称	開講年次	単位数	学部名	学科名
共通 (必修)	事業構想特別講義(CP概論)	1前	2		
	事業構想特別講義(CP基礎演習)	1後	1	事業	事業計画
	事業構想特別講義(CP実践論)	2前	2	構想	デザイン情報
	事業構想特別講義(CPフィールドワーク演習)	3前	2		
	地域計画	2前	2		事業計画
	都市計画	3前	2	事業	
グリーン デザイン	ランドスケープデザイン	3前	2	構想	デザイン情報
, , , ,	サスティナブルデザイン	2後	2		
	景観デザイン論	3前	2	食産業	環境システム
	園芸学 I	2後	2		
	園芸学Ⅱ	3前	2	食産業	ファームビジネ ス
	園芸・作物実験実習 I	3前	1		
グリーン ケア	ライフステージ看護学概論 I ※1	1後	2		
, ,	ライフステージ看護学概論Ⅱ	2前	2	看護	看護
	臨床心理学	臨床心理学 1後 2			
	健康科学	1前	2	(共通教育)	
	公衆衛生学	1後	2	看護	看護
	地域政策論	1後	2		事業計画
	地域資源論	1後	2		デザイン情報
	コミュニティ・ビジネス	2後	2	事業 構想	
グリーン ビジネス	eビジネス	2前	2	11172	事業計画
	地域交流事業	2後	2		
	食産業学Ⅱ	1後	2		ファームビジネ
	地域食産業論	2後	2	食産業	ス フードビジネス
	食料・農業・農村政策	3前	2		環境システム

^{※1「}ライフステージ看護学概論 I 」は看護学部の学生のみを受講対象としています。

[「]ライフステージ看護学概論Ⅱ」は看護学部及び他学部の学生も履修可能です。

[※]共通領域の7単位を修得し、かつグリーンデザイン、グリーンケア、グリーンビジネスの3領域中、2つ以上の領域から、3科目6単位以上を修得した者については、同プログラムを修了したものとし、「コミュニティー・プランナーアソシエイト」称号を授与する。

別表2 (デザイン情報学科)

授業科目		開講 年次		位数	授業 時間数	卒業要件	
	Tu and		必修	選択		7	
	英語 I A	1	1		30	留学生は選択	
	英語 I B	1	1		30	留学生は選択	
	英語 II A	1	1		30	留学生は選択	
	英語 II B	1	1		30	留学生は選択	
	英語ⅢA	2	1		30	留学生は選択	
	英語ⅢB	2	1		30	留学生は選択	
語	英語IVA (※看護系英語)	2		2	60	<u> </u>	
	英語IVB	2		1	30	▲ 必修を含めて8単位	
334	英語V	3 • 4		1	30	以上履修	
学	英語VI	3 • 4		1	30	(留学生を除く)	
	中国語I	1 • 2		1	30		
	中国語Ⅱ	1 • 2		1	30		
	韓国語I	1 • 2		1	30	11	
	韓国語Ⅱ	1 • 2		1	30	11	
	語学講義 I	1 • 2		1	30	11	
	語学講義Ⅱ	1 • 2		1	30	1]	
· 情	情報処理	1	2		30		
) HX	基礎統計学	1	2		30	1	
	基礎ゼミ	1	1		30	\vdash	
	宗教学	1 • 2	1	2	30	11	
	日本の歴史・文化	1 • 2		2	30	1	
	東南アジアの歴史・文化	1 • 2		2	30	-	
人	哲学	1 • 2		2	30	-	
間		1 • 2		2	30	- → 必修を含めて9単位	
形成	音楽			1		- 	
科	美術	1 • 2		2	30	以上履修	
目	健康科学	1 • 2		2	30	4	
	コミュニケーション	1 • 2		2	30	4	
	Global Studies I	1 • 2		2	30	41	
	Global Studies II	1 • 2		2	30	41	
	スポーツ実技	1 • 2		2	60	Į	
文	心理学	1 • 2		2	30	4)	
社	現代社会論	1 • 2		2	30	■ 8単位以上履修	
会科	憲法	1 • 2		2	30	11	
学	経済学概論	1 • 2		2	30		
	数学基礎	1		2	30	卒業要件単位に含まな	
	物理基礎	1		2	30	卒業要件単位に含まな	
基	化学基礎	1		2	30	卒業要件単位に含まな	
礎	生物基礎	1		2	30	卒業要件単位に含まな	
科	数学概論	1 • 2	2		30		
学	物理概論	1 • 2	2		30		
	化学概論	1 • 2		2	30		
	生物概論	1 • 2		2	30	IJ	
講特	特別講義I	1 • 2		2	30		
義別	特別講義Ⅱ	1 • 2		1	15		
	日本事情 I	1	2		30	ר	
留	日本事情Ⅱ	1	2		30	11	
学	日本語 I	1	2		30	- 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	
生	日本語Ⅱ	1	2		30		
対 象	日本語Ⅲ	2	2		30	11	
	日本語IV	2	2		30	11	
	E-1-HET		- 4		50	<u> </u>	

(デザイン情報学科)

		授 業 科 目	開講年次	単位	立数	授業	卒業要件	
			用碘平负	必修	選択	時間数	平果安什	
基	基	経営学概論	1前		2	30	V	
本科	礎科	事業計画概論	1前		2	30] \	
目	目	デザイン情報概論	1前	2		30] \	
		法学概論	1前		2	30] \	
		簿記原理	1前	2		30] \	
		会計学総論	1後	2		30]	
		建築概論	1後		2	30	空間デザインコースは必修	
		コンピュータ科学	1後		2	30	メディアデザインコースは必修	
		地域資源論	1後		2	30]	
		地域政策論	1後		2	30]	
		デザイン理論	1後	2		30]	
		ビジネスプランニング	1後		2	30]	
		ビジネスプレゼンテーション	1後		2	30		
		事業構想特別講義 **	1]	
		事業構想の数理	2前		2	30]	
		デザイン史	2前	2		30	必修科目を含めて	
		民法	2前		2	30	23単位以上選択	
		事業計画特別講義 I	2前		2	30]	
		デザイン情報特別講義 I	2前		2	30		
		感性情報処理	2後		2	30	メディアデザインコースは必修	
		商法·会社法	2後		2	30		
		マーケティングリサーチ	2後		2	30		
		マーケティング論	2後		2	30		
		ミクロ経済学	2後		2	30		
		事業計画特別講義Ⅱ	2後		2	30		
		デザイン情報特別講義Ⅱ	2後		2	30		
		社会科学総論	3前		2	30]	
		地域産業論	3前		2	30]	
		知的財産権	3前		2	30		
		事業計画特別講義Ⅲ	3前		2	30]	
		デザイン情報特別講Ⅲ	3前		2	30		
		チームプロジェクト研究	3後	2		30		
		復興の地域経営 *	3後		2	30		
		事業構想総論	4後		2	30		
		キャリア開発A	1後	1		15]	
	ヤリ	キャリア開発B	2前	1		15]	
		キャリア開発C	2後	1		15]	
	科	キャリア開発D	3前	1	<u> </u>	15		
	目	インターンシップ I	2前	Ī	2	30]]	
		インターンシップ Ⅱ	3前	I	2	30	1	
		インターンシップⅢ **	2	1	<u> </u>		1 /	
		グローバルインターンシップ **	2	1	<u> </u>		1 /	
		学外研修 **	1	1	I		1/	

専	基	メ	造形デザイン	2前		2	30	メディアデザインコースは必修
門	幹	デ	ビジュアル情報処理	2前		<u>2</u>	30	メディアデザインコースは必修
教	科	イー	プロジェクト管理	2前			30	メディアデザインコースは必修
育科	目	アデ				 2		メディアデザインコースは必修
目		ザ	メディアエレクトロニクス	2前			30	メディアデザインコースは必修
		イ	メディア表現	2前		2	30	メディアデザインコースは必修
		ング	アルゴリズム基礎	2後		2	30	d i i
		术	ウェブデザイン	2後		2	30	メディアデザインコースは必修
			ゲームデザイン	2後		2	30) 18 to 1 2t ter
			システム設計	2後		2	30	メディアデザインコースは必修
			デザインマネジメント	2後		2	30	メディアデザインコースは必修
			インタラクションデザイン	3前		2	30] [
			情報ネットワーク	3前		2	30	メディアデザインコース
			データベース	3前		2	30	は必修を含めて28単位
			データマイニング	3前		2	30	以上選択
			ユーザビリティ	3前]	2	30	
			映像デザイン	3後		2	30] []
			オペレーティングシステム	3後		2	30]
			広告・グラフィックスデザイン	3後		2	30] / [
			デザイン情報環境	3後		2	30	メディアデザインコースは必修
			プロダクトデザイン	3後		2	30	1/
		ン空系間	環境表現技術	2前		2	30	
		デザ	建築一般構造	2前		2	30	空間デザインコースは必修
		1	建築計画	2前		2	30	空間デザインコースは必修
		空	建築史	2前		2	30	空間デザインコースは必修
		間	都市と文化	2前		2	30	空間デザインコースは
		デザ	インテリアデザイン	2後		2	30	
		1	建築企画	2後		2	30	26単位以上選択
		ン	建築法規	2後		2	30	空間デザインコースは必修
		系	構造デザイン	2後		• 2	30	1
			構造力学 I	2後		2	30	空間デザインコースは必修
			サスティナブルデザイン	2後		2	30	
			環境工学	3前		2	30	空間デザインコースは必修
			建築デザイン	3前		2	30	1
			構造力学Ⅱ	3前		2	30	1
			材料学	3前		2	30	空間デザインコースは必修
			都市計画	3前		2	30	空間デザインコースは必修
			ファシリティマネジメント	3前		<u>.</u> 2	30	
			ランドスケープデザイン	3前		<u>.</u> 2	30	必修科目を含めて
			建築コスト	3後		 2	30	36単位以上選択
			空間デザイン	3後 3後		<u>2</u>	30	1
			空間と事業	3後 3後	┼	<u>2</u>	30	1 ! !
				·····		<u>2</u> 2	30	-
			施工技術	3後				1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
			設備設計	3後		2	30	/ /
			地区計画	3後		2	30	17 7

専	演	í	プログラミング基礎	1前	1		30	
門	門習		メディアデザイン基礎	1前	1		30	必修科目を含めて
教	科目		空間デザイン基礎	1前	1		30	22単位以上選択
育科		1	メディアデザイン演習 I	1後		2	60	メディアデザインコースは必修
目			設計製図I	1後		2	60	空間デザインコースは必修
			造形デザイン演習 I	1後		2	60	
			メディアデザイン演習 II	2前		2	60	メディアデザインコースは必修
			設計製図Ⅱ	2前		2	60	空間デザインコースは必修
			造形デザイン演習Ⅱ	2前		2	60	1
			メディアデザイン演習A	2後		2	60	メディアデザインコースは必修
			施設設計製図A	2後		2	60	空間デザインコースは必修
			メディアデザイン演習B	3前		3	90	メディアデザインコースは必修
			施設設計製図B	3前	***************************************	3	90	空間デザインコースは必修
			メディアデザイン演習C	3後		3	90	メディアデザインコースは必修
			施設設計製図C	3後		3	90	空間デザインコースは必修
			デザイン情報ゼミナール	3後	1		30]
			デザイン情報研究	4前	3		90] /
			卒業研究	4後	3		135	<u>ノ</u>
専門	関連	ビジ	企業簿記論	1後		2	30	
教	科	ネ	金融論	2前	**********	2	30	
育科	目	スプ	経営戦略	2前		2	30	
目		ラン	経営財務	2後		2	30	
		=	人的資源管理	2後		2	30	
		ング	税務会計	2後		2	30	
		管	非営利事業会計	2後		2	30	
		理系	意思決定会計	3前		2	30	
		71	企業評価	3前		2	30	
			公法	3前		2	30	
			CSR·監査論	3後		2	30	
			ベンチャー企業論	3後		2	30	
		ビジ	ITソリューション	2前		2	30]
			eビジネス	2前		2	30	
		プ	観光学	2前		2	30	ļ
		ラン	メディアプランニング	2前		2	30	
		ニン	ホスピタリティビジネス	2後		2	30]
		グ	流通システム	2後		2	30	_
		開窓	市場・社会調査事例	3前		2	30	1
		発系	商業開発	3前		2	30	
			販売促進	3前		2	30	
			ビジネスコントラクト	3後		2	30	
			ビジネスプロセスマネジメント	3後		2	30	
		<u> </u>	ブランディング	3後		2	30	

卒業要件単位数124単位以上

専	関	ソ	医療福祉政策論	2前		2	30		
門 教	連科			行政学総論	2前		2	30	
育	目		地域計画	2前		2	30		
科		ル	交通計画	2後		2	30		
目		プー	コミュニティビジネス	2後		2	30		
		ラン	プレイン 社会調査 2後 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2	30				
		上 地域交流事業	2後		2	30			
		ン	社会起業論	3前		2	30		
		グ系	非営利経営論	3前		2	30		
		不	環境政策論	3前		2	30		
			地域経済論	3後		2	30		
専門教育和	専門教育科目の合計 91単位以上								
V1 #+	2.1 甘木村日 甘松村日 定羽村日単位でるれてもでもつめる大衆亜州単位の企計は0.1単位(心体す合さ)								

※1 基本科目、基幹科目、演習科目単位でそれぞれ定める卒業要件単位の合計は81単位(必修を含む)。※2 ※1のほか、関連科目を含め専門教育科目から履修が必要な単位数は10単位以上。ただし、関連科目から卒業要件単位に算入できる単位数は、10単位までとする。

共通教育科目と専門教育科目の合計

*表示のある科目は「復興人材養成プログラム」に関連する科目である。

**表示のある科目の開講期及び単位数は、授業の内容に応じ、その都度定める。

〇「学都仙台コンソーシアム復興人材育成教育コース科目」(東北大学単位互換提供科目「カレントトピック科目」) 以下の科目は「宮城大学の学生による他学部・他学科等授業科目の履修等実施要綱」第6条第1条に基づき、卒業要件単位に算入できる。

4	受業科目	推奨受講年次	単位数		
1	文 未 村 日	在英文碑中仍	必修	選択	
連携	復興の思想 *	2•3年		2	
科	復興のための生活構築術*	2•3年		2	
目	復興の科学技術 *	2•3年		2	
	復興の政治学*	2•3年		2	
	復興の経済学*	2•3年		2	
	復興の社会学 *	2•3年		2	

[※] これらの復興科目から6単位を修得し、かつ専門基本科目「復興の地域経営」2単位を修得した者に、「復興人材養成プログラム」修了証を授与する。

〇コミュニティ・プランナープログラム 科目表

領域	授業科目名称	開講年次	単位数	学部名	学科名	
	事業構想特別講義(CP概論)	1前	2			
共通	事業構想特別講義(CP基礎演習)	1後	1	事業	事業計画	
(必修)	事業構想特別講義(CP実践論)	2前	2	構想	デザイン情報	
	事業構想特別講義(CPフィールドワーク演習)	3前	2			
	地域計画	2前	2		事業計画	
	都市計画	3前	2	事業		
グリーン デザイン	ランドスケープデザイン	3前	2	構想	デザイン情報	
7 9 1 2	サスティナブルデザイン	2後	2			
	景観デザイン論	3前	2	食産業	環境システム	
	園芸学 I	2後	2			
	園芸学Ⅱ	3前	2	食産業	ファームビジネス	
	園芸・作物実験実習 I	3前	1			
グリーン ケア	ライフステージ看護学概論 I ※1	1後	2			
99	ライフステージ看護学概論Ⅱ	2前	2	看護	看護	
	臨床心理学	1後	2			
	健康科学	1前	2	(共通教育)		
	公衆衛生学	1後	2	看護	看護	
	地域政策論	1後	2		事業計画	
	地域資源論	1後	2	-1-116	デザイン情報	
	コミュニティ・ビジネス	2後	2	事業 構想		
グリーン ビジネス	eビジネス	2前	2	冊心	事業計画	
レンホハ	地域交流事業	2後	2			
	食産業学Ⅱ	1後	2		ファームビジネス	
	地域食産業論	2後	2	食産業	フードビジネス	
	食料・農業・農村政策	3前	2		環境システム	

^{※1「}ライフステージ看護学概論 I 」は看護学部の学生のみを受講対象としています。

別表 3 (第 14 条関係)

該当年次	要件						
3年次への進級	2年次学年末まで	2年次学年末までの合計修得単位数が60単位以上であること。					
4年次への進級	事業計画学科 ① 3年次学年末までの必修科目の未修得科目が1科目以下で						
			と。				
		2	3年次の事業演習Ⅰ・Ⅱに関する選択必修科目がそれぞれ1科目				
			以上修得できていること。				
		③ 3年次学年末までの合計修得単位数が92単位以上					
	デザイン情報	1	3年次学年末までの必修科目の未修得科目が4科目以下であるこ				
	学科		と。				
		2	3年次のデザイン情報ゼミナールが修得できていること。				
		3	3年次学年末までの合計修得単位数が105単位以上であること。				

[「]ライフステージ看護学概論Ⅱ」は看護学部及び他学部の学生も履修可能です。

[※]共通領域の7単位を修得し、かつグリーンデザイン、グリーンケア、グリーンビジネスの3領域中、2つ以上の領域から、3科目6単位以上を修得した者については、同プログラムを修了したものとし、「コミュニティー・プランナーアソシエイト」称号を授与する。